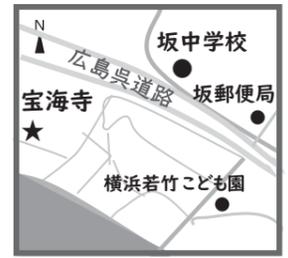


坂町文化財 No.16

23回シリーズで坂町文化財保護委員の皆さんが、史跡案内看板設置箇所をご紹介します。見慣れた町の風景に新しい発見がありますように。

まちをぶらり～横超山宝海寺～

横浜地区の横超山宝海寺は、もとは説教所から始まり、昭和26年に地区住民総意のもと設立願が出され、その4年後、住職をお迎えて宝海寺としての歩みが始まりました。毎年2月には追弔会といって、1年間に亡くなられた方々の法要、そして魚族を追弔する法要が営まれます。昔は、イワシ漁が盛んな土地柄だったことから、この法要を「イワシの法事」と呼んでいました。魚たちが、生きていく糧を与えてくれるだけでなく、仏の教えのいざないまでも教え導いてくれることに感謝し、静かに手を合わせます。



- 丸堂 心 (小屋浦一丁目)
- 瀬戸口 心春 (植田三丁目)
- 齊藤 錬 (平成ヶ浜五丁目)
- 前野 蒼紫 (平成ヶ浜二丁目)
- 藪野 風斗 (坂西一丁目)
- 山崎 咲玖 (坂西一丁目)
- 八木 杏心 (坂東二丁目)
- 西谷 航也 (坂東二丁目)
- 佐久間 想 (坂東一丁目)

よろこび
おめでとうございませう
5月届出分 敬称略

- ◎香典返し寄附者 (5月受領分・敬称略)
- 車地 孝幸 (坂東一丁目)
- 齊藤 秀也 (小屋浦二丁目)

あたたかい
心のともしび

7月4日(火) 発売!!
1枚300円
この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。
公団 広島市立野田児童センター

- このコーナーに掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。
- 縫部千代子(95)(坂西一丁目)
 - 大廻 久松(97)(坂西二丁目)
 - 横林 深幸(82)(北新地二丁目)
 - 木坂 和廣(68)(平成ヶ浜三丁目)
 - 河東 澄江(99)(横浜中央三丁目)
 - 埴越 克彦(84)(横浜西一丁目)
 - 畝 文枝(95)(植田三丁目)
 - 西谷 智子(94)(小屋浦二丁目)
 - 齊藤千代子(87)(小屋浦二丁目)
 - 大畠 一利(96)(小屋浦三丁目)

かなしみ
おくやみ申し上げませう
5月届出分 敬称略

今月の休日当番医

日付	坂町・熊野町	府中町	海田町	広島市安芸区
2日(日)	児玉クリニック (内科・外科・胃腸科) ☎855-4700	なんば内科 ☎282-4511	ちえ内科クリニック ☎847-6500	あおぞら診療所 (整形外科) ☎880-0030
9日(日)	だて耳鼻咽喉科クリニック ☎884-4133	小山田内科医院 ☎281-0807	山野上内科クリニック ☎823-7272	こいけ眼科 ☎847-2772
16日(日)	片山医院 (内科・外科) ☎854-0252	府中水野皮膚科クリニック ☎284-4112	よしだ内科呼吸器科 ☎821-2512	あきクリニック (精神科) ☎822-0753
17日(月・祝)		ちくいクリニック (脳外科・内科) ☎286-7788	かわもと皮膚科 ☎820-0101	中野東クリニック (内科・呼吸器内科) ☎893-3700
23日(日)	河原クリニック (内科・呼吸器科) ☎820-1711	こさか内科 ☎281-4482	かいたいちウイメンズクリニック (婦人科) ☎822-8343	向井内科・脳神経内科 ☎888-1110
30日(日)	藤田小児科医院 ☎854-0707	スガタ整形外科医院 ☎285-6522	たんきょう眼科 ☎824-3131	小野耳鼻咽喉科 ☎888-2113

受診を迷うときは、#8000子どもの救急電話相談 (毎日、19時から翌朝8時まで)、#7119成人の救急電話相談 (24時間365日) もご利用ください。

今月の納税

口座振替日	7月26日(水)	7月31日(月)
口座振替の登録をされている方は、口座振替日の前日までに残高の確認をお願いします。	固定資産税……………第2期分 国民健康保険税……………第1期分 介護保険料(1号)……………第4期分 後期高齢者保険料……………第1期分	

坂町の人口と世帯

(6月1日現在)

男	6,188人	(前月比 0)
女	6,665人	(前月比 -4)
計	12,853人	(前月比 -4)
世帯数	5,879世帯	(前月比 +5)

第112回 坂町のいまむかし (小屋浦の風景)

小屋浦地区は、坂・横浜地区と離れており、地理的な面から孤立化することがありました。明治40年の大水害そして平成30年の7月豪雨でも、陸の孤島と化しました。



昭和32年ころ



小屋浦いこいの美術館



令和5年5月

小屋浦地区の天地川上流の堆積工工事が完了し、地区住民が描いた護岸ブロック絵画がお披露目されました。小屋浦いこいの美術館と名付けられ、今後の天災をもはね退ける、明るい未来ある小屋浦となるよう、みんなの思いが込められています。